

公益財団法人平野政吉美術財団

令和 2 年度事業報告

<総括>

令和 2 年度の実業については、当財団の目的に沿った活動を行った。美術館の指定管理については適切に実施した。

- ・展示公開事業は、常設展の他、企画展を 2 回、特別展を 2 回、開催。特別展「戸嶋靖昌展－縄文の焔と闇」、特別展「藤田嗣治 布との対話－筒描・藍染を慈しむ」、企画展「平野政吉コレクション 素描と版画」、企画展「平野政吉コレクション 花鳥図を中心に」を開催した。特別展「奇才・ダリ版画展」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から 4 月 12 日から公開を中止。特別展「秋田の建築展」は延期となり、次年度以降の開催を検討することとなった。
- ・教育普及事業は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、中止の措置をとったものが多かった。実施した事業に関しても、十分な感染防止対策を行った上で開催した。
- ・調査研究の成果は、展覧会に生かし、また寄稿で発表した。
- ・美術ホール運営事業は、「秋田県美術展覧会」や「全県新年書初め展」など全県規模の展覧会が新型コロナウイルスを理由に軒並み中止となり入場者数が激減した。また、夏に予定されていた秋田県と秋田朝日放送が協力して開催する「MINIATURE LIFE 展 ～田中達也 見立ての世界～」が令和 3 年度へ延期となった。特別展「戸嶋靖昌展－縄文の焔と闇」の会場として美術ホールを活用し、大規模な展観を実現した。秋以降は「秋田県工芸家協会展」や「秋田公立美術大学卒業・修了展」など毎年美術ホールを使用している団体が展覧会を開催した。
- ・売店事業は、来館者へのサービスの一貫として、業者への委託販売とインターネットでの販売を展開した。

I 展示公開事業

(1) 常設展示事業

常設展 平野政吉コレクション I

- | | |
|--------|---|
| 1 会 期 | 令和 2 年 4 月 1 1 日（土）～ 5 月 3 1 日（日）
※ 4 月 1 2 日（日）から公開中止 |
| 2 会 場 | 大壁画ギャラリー |
| 3 内 容 | 藤田嗣治の中南米や中国への旅を取材した作品、および日本をテーマにした作品を展観した。 |
| 4 入場者数 | 1 1 9 人 |

常設展 平野政吉コレクションⅡ（特別展「秋田の建築展」代替）

- 1 会 期 令和2年6月6日（土）～8月30日（日）
※4月12日（日）から公開中止
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 藤田嗣治の中南米や中国への旅を取材した作品、および藤田が中南米旅行中に収集した品々や宗教画を展観した。
- 4 入場者数 2,944人

常設展 平野政吉コレクションⅢ

- 1 会 期 令和2年10月24日（土）～令和3年1月10日（日）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、藤田嗣治の1930年代の代表作を中心に展示した。
- 4 入場者数 7,331人

（2）企画展示事業

企画展 平野政吉コレクション 素描と版画

- 1 会 期 令和2年9月5日（土）～10月18日（日）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 内 容 藤田嗣治が群像大作制作を前に描いた人物デッサン、妻・マドレーヌをモデルとしたデッサン、中南米で描いた民衆のデッサンを展観。あわせて、『魅せられたる河』や、ジャン・コクトーのテキストに藤田の版画を挿絵として添えた『四十雀』などを紹介した。
- 4 入場者数 2,976人

企画展 平野政吉コレクション 花鳥図を中心に

- 1 会 期 令和3年3月13日（土）～5月9日（日）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 内 容 平野政吉コレクションの中から、草花や鳥を題材にした南蘋派や秋田蘭画の作品を展示した。
- 4 入場者数 2,483人

（3）特別展示事業

特別展 奇才・ダリ版画展

- 1 会 期 令和2年4月11日（土）～5月31日（日）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 内 容 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、4月12日から公開を中止した。
- 4 入場者数 119人

特別展 戸嶋靖昌展－縄文の焰と闇

- 1 会 期 令和2年10月24日（土）～令和3年1月10日（日）
- 2 会 場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 内 容 戸嶋靖昌は、秋田県鷹巣町（現北秋田市）を父祖の地とする洋画家である。

このたびの展覧会では、戸嶋が秋田滞在期に制作した初期の油彩画、武蔵野美術大学在学中の作品、画風を確立したスペイン時代の作品、晩年の作品を展覧し、戸嶋の画業を網羅的に紹介した。また、戸嶋が実際に使用していた画材、戸嶋が撮影した写真なども展示し、戸嶋の人物像にも迫る展覧会となった。戸嶋作品に初めて触れたという方が多かったが、会期中何度も足を運ぶ来館者や展覧会に対する反応も多く、大変好評だった。

4 入場者数 7,331人

特別展 藤田嗣治 布との対話—筒描・藍染を慈しむ—

1 会 期 令和3年1月16日（土）～3月7日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

3 内 容 藤田の終の棲家であるメゾン＝アトリエ・フジタ（フランス・エソンヌ県）に残されている、藤田が日本滞在中に収集したとされる衣装や着物、布のはぎれといった染織品を展示するとともに、1930年代に制作された作品に描かれている布について着目した。メゾン＝アトリエ・フジタが所蔵する布が日本で展示される機会はこれまで少なく、中でも「茶道具文様筒描布団鏡表」は財団が所蔵する作品に描かれている筒描の実物であり、隣接して展示することで、藤田の驚異的な再現力を堪能できただけでなく美術関係者にとっても意義深い展示であったと思われる。

4 入場者数 1,972人

※同時開催の展覧会の入場者数は、各々表記した。

II 教育普及事業

(1) 講演会等

特別展「奇才・ダリ版画展」関連講演会

1 演 題 「ダリを巡る不思議な旅」

2 実施日 令和2年5月17日（日）

3 会 場 レクチャールーム

4 講 師 村松和明氏（美術史家）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催を中止した。

特別展「戸嶋靖昌展—縄文の焰と闇」関連講演会（Web 動画）

1 演 題 「戸嶋靖昌とは何ものか」

2 実施日 令和2年10月1日から公開

3 講 師 執行草舟氏（戸嶋靖昌記念館館長）

4 内 容 戸嶋靖昌の晩年の絵のモデルであり、よき理解者であった執行草舟氏による講演会。その人となりから芸術作品、そして戸嶋の最晩年の様子を語っていただいた。新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、講演の内容を収録し、特別動画サイトにて公開した。

(2) ワークショップ・美術館教室・シェアギャラリー

ワークショップ「館長によるデッサン講座」

- 1 実施日 延期
 - 2 会 場 レクチャールーム
 - 3 講 師 渋谷重弘氏（秋田県立美術館 館長）
- ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、開催を来年度に延期。

ワークショップ「美術館を作ろう」

- 1 実施日 令和2年8月
 - 2 会 場 レクチャールーム
 - 3 講 師 込山敦司氏（秋田県立大学准教授）
- ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

美術館教室「藤田嗣治×コンテンポラリーダンス」

- 1 実施日 令和3年2月13日（土）
- 2 会 場 県民ギャラリー
- 3 出 演 川村真奈氏、若羽幸平氏、四家卯大氏、加賀谷葵氏
- 4 内 容 ダンス、舞踏、チェロという多彩なジャンルのコラボレーションによる、藤田や彼の作品をイメージしたダンスステージを開催した。
- 5 参加者数 26人

美術館教室「ハンドベルコンサート」

- 1 実施日 令和3年12月20日（日）
- 2 会 場 ミュージアム・ラウンジ
- 3 講 師 学芸員
- 4 奏 者 未定

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催を中止した。

ワークショップ「ぬりえを楽しもう」

- 1 実施日 令和3年2月
- 2 会 場 にぎわい交流館 AU1階
- 3 講 師 学芸員

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催を中止した。

第2回 個展のつどいシェアギャラリー

- 1 実施日 令和2年9月18日（金）～28日（月）
- 2 会 場 県民ギャラリー
- 3 監 修 渋谷重弘氏（秋田県立美術館 館長）
- 4 内 容 個人や小規模団体で活動するアーティストの作品発表の場として県民ギャラリーを区画ごとに無償で提供した。
- 5 参加数 19（個人・団体）
- 6 入場者 1,091人

(3) 学芸員によるギャラリートーク

特別展「奇才・ダリ版画展」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和2年4月18日（土）、5月2日（土）

2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

3 講 師 学芸員

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催を中止した。

特別展「秋田の建築展」ギャラリートーク

1 実施日 令和2年6月20日(土)、7月18日(土)、8月15日(土)

2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

3 講 師 学芸員

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催を中止した。

特別展「戸嶋靖昌展－縄文の焰と闇」ギャラリートーク

1 実施日 令和2年10月24日(土)、11月28日(土)、12月19日(土)

2 会 場 県民ギャラリー

3 講 師 学芸員

4 参加者数 89人

特別展「藤田嗣治 布との対話－筒描・藍染を慈しむ－」ギャラリートーク

1 実施日 令和3年1月16日(土)、2月20日(土)

2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

3 講 師 学芸員

4 参加者数 17人

企画展「平野政吉コレクション 素描と版画」ギャラリートーク

1 実施日 令和2年9月19日(土)、10月17日(土)

2 会 場 ギャラリー1・2

3 講 師 学芸員

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催を中止した。

企画展「平野政吉コレクション 花鳥図を中心に」ギャラリートーク

1 実施日 令和3年3月20日(土)、4月17日(土)

2 会 場 ギャラリー1・2

3 講 師 学芸員

4 参加者数 12人

常設展関連 定例ギャラリートーク《秋田の行事》を読み解く

1 実施日 令和2年8月1日(土)、9月5日(土)、10月3日(土)、11月7日(土)、
12月5日(土)、令和3年1月9日(土)、2月6日(土)、3月6日(土)

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 講 師 学芸員

4 参加者数 74人

III 調査研究事業

1. 展覧会図録

論文

・佐々木佳苗「戸嶋靖昌と秋田」『戸嶋靖昌展－縄文の焰と闇』図録、令和2年10月、戸

嶋靖昌記念館

2. 新聞寄稿

作品解説

- ・佐々木佳苗「ダリ《蝶に囲まれたダリのシュルレアリスムの肖像》、ダリ《天空の象》」－「奇才・ダリ版画展」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和2年4月8日
- ・小泉俊貴「藤田嗣治《カーナバルの後》、藤田嗣治《私の画室》」－「平野政吉コレクション展」(特別展「秋田の建築展」代替の展覧会)出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和2年6月17日
- ・小泉俊貴「藤田嗣治「魅せられたる河より《サン・フィリップ教会》、村山槐多《婦人像(素描)》」－「平野政吉コレクション：素描と版画」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和2年9月2日
- ・佐々木佳苗「戸嶋靖昌《秋田原景》、戸嶋靖昌《アルバイシンの男ーミゲールの像ー》」－特別展「戸嶋靖昌展ー縄文の焰と闇」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和2年11月11日
- ・小泉俊貴「藤田嗣治《自画像》、茶道具文様筒描布団鏡表」－特別展「藤田嗣治 布との対話ー筒描・藍染を慈しむー」出品作品・資料『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和3年2月3日
- ・佐々木佳苗「小田野直武《秋菊図》、藤氏憲承《小禽・椿花図》」－企画展「平野政吉コレクション：花鳥図を中心に」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和3年3月10日

IV 美術ホール運営事業（貸しホール事業）

1. 事業内容

- ① 県民ギャラリーの利用者に対しては展示構成を確認し、展示作業の補助および作業監視を行った。
- ② 美術ホールと展示室を併せて使用する大型の特別展事業を行った。
 - ・ 特別展「戸嶋靖昌展ー縄文の焰と闇」では3階展示室と美術ホールを使用しての展示を行った。
 - ・ 児童・生徒の美術館について理解を促すため、セカンドスクール利用の一環として、美術ホールの催し物と展示室の企画展や特別展をあわせて鑑賞する機会を設けた。

2. 実績

総入場者数 13,188人

主な使用履歴

- ・第59回秋田県工芸家協会・第12回秋田工芸展 主催：秋田県工芸家協会
令和2年10月15日（木）～18日（日）、入場者数：692人
- ・特別展 戸嶋靖昌展ー縄文の焰と闇 1階会場として使用
令和3年10月24日（土）～令和3年1月10日（日） 入場者数：7,331人
- ・令和2年度秋田公立美術大学附属高等学院生徒作品展 第68回 明日のクリエイターたち
主催：秋田公立美術大学附属高等学院
令和3年2月6日（土）～11日（日）、入場者数：1,088人
- ・秋田公立美術大学卒業・修了展2021「へば、」 主催：秋田公立美術大学
令和3年2月17日（水）～21日（日）、入場者数：1,397人
- ・第46回 秋田秀作美術展 主催：秋田県芸術文化協会
令和3年2月25日（木）～28日（日）、入場者数：1,072人

V 売店事業

1. 事業内容

- ・インターネットでの《秋田の行事》額絵の販売。
- ・秋田県立美術館ミュージアムショップ運営者・光風舎へ委託販売。
- ・福岡市美術館開催「藤田嗣治と彼が愛した布たち」展ミュージアムショップ(大塚工芸社)へ委託販売

2. 実績

- ・売り上げ総計 16品 3,219枚

内訳

《秋田の行事》レプリカ 269枚

《秋田の行事》額絵 27枚

絵はがき14種 2,923枚